Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう、
博愛を広げるために

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

6月は
ロータリー親睦活動月間

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2550
http://www.rid2550.com/

JUNE
2011-2012
VOL. 12

皆様のご協力に心より感謝

第2550地区ガバナー　比企 達男

対談で和やかに語り合う比企ガバナー（左）と鈴木ガバナー・エレクト（右）

『光陰矢の如し』の至言は正に実感で、今月をもってガバナーの任期が終了し、従ってこの月信も今年度の最終号の発刊を迎えることとなりました。佐貫月信編集委員長を中心に、岩村幹事、橋本、鈴木（修）両編集委員、そして宇都宮90RCの会員である、随想舎社長の卯木氏の方々が、毎月２～３回の編集会議を開き、文字通り時間の経つのも忘れて、月信作製に励んでくださいました。『読んでもらえる月信を』が合言葉でしたが、読んで頂けたでしょうか。今の私の気持ちは『これからは、月信は丹念に読みます』であります。

思えば、この１年半は、仕事そっちのけで誠に目の回るような日々でした。ガバナー・エレクトとして、２回のガバナー・ノミニー研修セミナーに、また、サンディエゴでの国際協議会に、いずれも家内とともに参加し、PETS・地区協議会、地区運営委員会を開催した後、ガバナーに就任。各クラブへの公式訪問、地区大会の開催、地区内外の諸会合への出席等々、それこそロータリー漬けの１年半でした。

元より、ガバナーは、どんなに逆立ちしても１人では何もできるものではなく、先輩ガバナーのご支援と温かいお心使い、岩村幹事、増渕地区会計長、竹田ロータリーの友委員長からなる３役の全面的な協力、10人のガバナー補佐の方々の親身なご協力、各奉仕部門の委員長を中心とした委員の方々の全面的なご協力、各クラブの会長、幹事様を中心とした全ロータリアンの温かいご支援、そして、私の所属クラブの宇都宮陽東ロータリークラブの全会員、特に郡司会長、小池幹事、PETSの岸実行委員長を中心とした委員会、地区協の渡辺委員長を中心とした委員会、また、地区大会の安藤実行委員長を中心とした委員会の皆さんの献身的な尽力には、感謝の言葉を見出すことができません。そして、ガバナー事務所の永島、渡邉両氏のご協力なくしては、ガバナーの務めはとうてい果たすことはできませんでした。ここで厚く御礼申し上げます。

CONTENTS

地区幹事、地区会計長の1年を振り返って …… 3
写真で見る比企年度の1年間 …… 4
カウンセラー・地区研修リーダーの1年を振り返って …… 6
対談「比企年度の実績と鈴木年度の目標」…… 7
ガバナー補佐の1年を振り返って …… 10
ガバナー月信編集委員会より …… 13
2011-12年度インターアクト海外研修報告 …… 14
新入会員、物故会員紹介 …… 14
4月会員増強・出席報告、文庫通信 …… 15
地区大会のお知らせ …… 16

NEWS

ロータリーレート／1ドル＝80円

・主要行事

6月 9日（土）2012－2013第1回地区R米山記念奨学会委員会
6月10日（日）2012－2013第1回諮問委員会
7月 4日（水）青少年交換委員会
7月14日（土）地区大会ゴルフ大会
7月15日（日）RI会長代理歓迎晩餐会
7月16日（月）地区大会
7月16日（月）1年交換学生帰国報告会
8月 5日（日）第16回IAC年次大会
8月19日（日）クラブ米山委員長会議

そして、もう一人、付け加えることを皆様にお許し頂けるのなら、ロータリアンでもある家内の存在は、何ものにも替えることのできないものでした。ガバナー・エレクト時代から、行動を共にしてくれ、良きアドバイザー、良き健康管理者として、私を支えてくれたことを、密かに感謝しております。

ガバナーとして、やり残した、心残りの仕事があるとすれば、『災害支援基金』の設立と『災害対策マニュアル』の作製です。小澤一彦トラスティーには何回か私の考えを申し上げましたが、ＲＩとの関係で、おいそれとは行かないようです。しかし、幸い、鈴木次期ガバナーは地区内での基金設立を考えておられますから、その実現を願い、それが、やがて日本ロータリーのお手本となることを願っております。紙面も尽きて参りました。末筆ながら、鈴木年度とこれからの2550地区のますますの発展を願い、退任のご挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

中央から右に比企ガバナー、近藤RI会長代理ご夫妻、比企洋子夫人

国際大会（アメリカ・サンディエゴ）に出席した際の記念写真

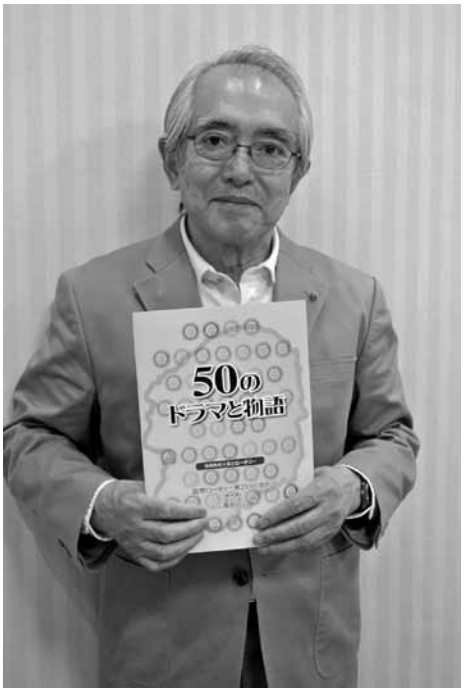
「50のドラマと物語」活用を

2011～12年度地区広報委員会は、RI広報補助金を活用し「50のドラマと物語」を制作いたしました。ご高覧のうえ、ご活用いただければ幸いです。

ロータリーの人生哲学の土台となったのは、「自分にしてもらいたいことは、他の人にもそのようにしなさい」であり、これは「自分のことよりも他の人のこと優先させる」、つまり「超我の奉仕」です。1905年、米国シカゴ市で弁護士ポール・ハリスが３人の友人に声をかけてロータリーの活動を始めた時以来の精神で、最終目的は世界平和の実現でした。この活動は、荒廃した世界の状況の中に清風を吹き込むことになり、瞬く間に各国に広がっていきました。

RI広報補助金はロータリーの認知度と公共イメージを高めようと努める地域を支援することを目的にしています。今回の「50のドラマと物語」には、第2550地区内全クラブの奉仕活動を紹介いたしました。各クラブにおける取り組みの内容は様々ですが、どのページからもまさに「超我の奉仕」の熱い息吹が伝わってきます。こうした性格の冊子の作成は、ロータリー界においては初めての試みのようです。各クラブの会員の皆様にはぜひご一読いただき、さらに広くロータリーのPRや会員増強の一助としてお役立てください。

制作に当たりましては各クラブの幹事様、広報委員長様に多大なご協力をいただきましたことをあらためて御礼申し上げます。



完成した「50のドラマと物語」を持つ比企ガバナー

地区幹事の１年を振り返って

地区幹事
岩村　隆之
（宇都宮陽東RC）

思い起こすと今から約2年前、当時小生はクラブの会長をしておりまして、やっと１年の任期が終わろうとしており、ほっとしていた矢先でありました。

今でも記憶にありますが、5月6日、学校も、業界も、RCも大先輩である偉い方から「お宅のクラブでガバナーを出してほしい」というお話をいただきました。

あまりにも突然のことで驚きました。早速クラブで協議の結果、ガバナーを輩出することはクラブとして大変名誉なことであり、なんとか比企先生にお願いをし、クラブ総力をあげて取り組むことが決定されました。ガバナーノミニーという助走期間も無く、いきなりガバナーエレクトとなりました。

最初の行事であるPETS を迎え、3月13日の実施に向けて着々と準備を進めておりましたが、3月11日のあの大地震で中止をせざるを得ませんでした。皆様には不行き届きの点が多くご迷惑をおかけしましたが、状況判断の結果、やむを得ずPETS と地区協議会を5月11日、作新学院大学で同時開催することになりました。大変な無理があり、難しさは十分認識をし心配はしましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、にわかづくりではありましたが、なんとか実施することができました。10月行われました地区大会は大震災のあとのため、極めて質素でありながらも中身の濃い大会を納めることができました。大会終了時のあの感激は今も忘れられません。

比企ガバナーには大変なご苦労をおかけしましたが、わがクラブとしてはガバナー輩出によってメンバーの結束がさらに強固なものになり、将来へのクラブ発展につながったものと思います。

小生も地区幹事という大役を仰せつかりましたが、ロータリーでなくてはお会いすることができない素晴らしい方々と親しくさせていただくことができ、本当にありがたく思っております。“地区幹事を引き受けたら大変だ”とよく言われますが､皆様のクラブでガバナーを出した際は、人生の貴重な経験を積む上でも自ら率先してぜひ地区幹事をやられることをお勧めしたいと思います。

皆様のご指導とご協力に支えられ、なんとか務めることができましたことを心より感謝いたしております。ありがとうございました。

地区大会でガバナー補佐を紹介する岩村幹事

地区会計長の１年を振り返って

増山　誠
（宇都宮陽東RC）

思ってもみないことでしたが、地区会計長に任命され、比企年度の地区の資金管理をすることになりました。皆様のご協力のおかげで比企ガバナーを支えることができました。

地区会計長の仕事は､任期の半年前の１月より､地区予算の作成から始動しました。地区資金等の基礎となる基準会員数を何名とみるか考えましたが、期待を込めて、前年度と同数としたところ、実際には、50名強の誤差が出てしまいました。3･11の東日本大震災等の影響も大きかったのではないか、と思っています。支出の面では、PETSと地区協議会が同日開催になり､また､１年交換助成などに影響がありました。

当年度の収支の確定と報告の手続きが残っております。気を抜かず取り組む所存です。

大変貴重な経験をすることができ、今は引き受けて良かった、と思っています。

写真で見る比企年度の１年間

2011–2012 RIのネクタイを手に地区の目標を語る比企ガバナー・エレクト

熱心に耳を傾ける会長エレクトたち

瀬下ガバナーより比企ガバナー・エレクトにロータリー地区旗が手渡される

●PETSおよび2011－2012地区協議会

2011年5月15日(日)/作新学院大学

会場を埋め尽くしたロータリアンたち

●第15回インターアクト年次大会

2011年8月6日(土)/作新学院高等学校

研修会で行われたマイ箸づくり

インターアクト年次大会で祝辞を述べる比企ガバナー

●米山記念奨学会カウンセラー研修会

2011年9月11日(日)/ホテルニューイタヤ

米山記念奨学会の会議を終えて。左から羽石カウンセラー、板橋(財)ロータリー米山記念奨学会理事長、比企ガバナー、鈴木ガバナー・エレクト

●第35回RYLAセミナー

2011年10月8日(土)～10日(月)
ニューサンピア栃木

比企ガバナーを迎えて行われたRYLAセミナー受講式

徐重仁氏を囲んで。左が佐藤栄一宇都宮市長、右が福田富一栃木県知事

比企ガバナーとC.W.ニコル氏

●地区大会

2011年10月15日(土)～16日(日)
宇都宮グランドホテル

福田富一栃木県知事と名刺を交換する徐重仁氏(台北東海RC)

比企ガバナーを囲んで。左から近藤パスト・ガバナー、飯村ガバナー・ノミニー、瀬下パスト・ガバナー

1年交換学生の「帰国報告会」

地区大会を終えてRI会長代理ご夫妻の見送り時の記念撮影

東日本大震災の被災体験を語る桑原茂氏(塩釜RC)

●2012－2013 地区協議会

2012年3月25日(日)
宇都宮グランドホテル

ロータリー旗を前に立つ比企ガバナーと飯村ガバナー・ノミニー

壇上にデコレーションされたロゴマーク

●2011－2012国際大会

2012年5月6日(日)～9日(水)
タイ・バンコク

万国旗に彩られた会場風景

現地のロータリアンと交流するGSE派遣メンバー

GSE派遣を報じる下野新聞

●GSE派遣

2012年4月17日(火)～5月8日(火)/アメリカ・ペンシルバニア州

カウンセラー・地区研修リーダーの１年を振り返って

新世代部門カウンセラー
瀬下　龍夫
（壬生RC）

「奉仕」は、相手の気持ちを完全に理解しないと、本物にはなりません。ところが、小職は、"今頃の若者"はと、十把一絡げにし、彼らを育成しようとしていたのではないか。

インターアクターやローターアクターとお話しし、また、ライラでは若い講師の教え方をかつ目し、さらに、一年交換留学生の日本文化に関する発表に感嘆するうちに、考えが変わりだしました。教えることは、学ぶことだと痛感した次第です。

この経験を活かし、彼らに未来を託するには、どうすればよいのか、新世代部門の委員と、一緒に考える機会をくれた１年でした。　末筆になりましたが、各委員の熱意に深甚の謝意を申し上げます。

財団部門カウンセラー
近藤　隆亮
（宇都宮RC）

本年度は、「未来の夢計画」導入準備年度2012年度へのつなぎの年度でもあり、通常年度に倍する多忙な年度であったが、8月7日開催の、次年度クラブ会長をも含めた地区財団研修会をスタートに、地区内クラブ支援活動を開始した。その結果、地区財団6小委員会全てにおいて所期の目標を達成した。地区内全クラブおよび地区財団委員会委員各位のご努力に敬意を表し深謝いたします。

本年度特筆事項として、当地区初の平和フェロー大阿久裕子の誕生、ポリオ・チャレンジ地区目標30万ドル寄付達成を報告いたします。

米山記念奨学会部門カウンセラー
羽石　光臣
（宇都宮東RC）

米山記念奨学会の奨学制度は日本のロータリアンが世界に誇ることのできる事業です。その奨学事業の価値は、「どんな奨学生を採用したか」で決まります。さらに、意味のあることは「どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか」です。

学生たちはロータリアンの後ろ姿から人生を学び、自分自身の生き方を学び、人生観や価値観を変えて行きます。そして、ロータリーの本質を見抜きます。

米山の学友たちがそれぞれのお国で活躍して認められるようになり、米山の樹に花が咲き実が付き始めました。台湾・韓国・中国に続いてタイに学友会ができます。

地区研修リーダー
大竹　義夫
（足利東RC）

比企年度が順調にスタートすべく、研修リーダーがまず支えていくという大きな役割を担い、大変プレッシャーを感じた１年間でした。去年２月６日に諮問委員会そして地区運営委員会にて比企年度のRI 会長カルヤン・バネルジー氏の“心の中をみつめよう　博愛を広げるために”のRI テーマの説明があり、いよいよ比企年度がスタートするのだなと実感がわいてきました。 終了後、比企年度を支える10人のサムライ即ちガバナー補佐の第２回目の会議が開催され､比企達男年度の地区方針が発表されました｡研修リーダーの立場からガバナー補佐に対して、比企ガバナーの意向を50のクラブに正確に伝達してもらうよう今回の会議は非常に重要なものであることを述べ、その理解度を高めるよう活発な議論をお願いいたしました。３月11日、東日本大震災が発生し、PETS（会長エレクトセミナー）が中止となり、比企年度のスタートも大変でしたが、１年間比企ガバナーの慈愛に満ちた笑顔で無事終了するところまできました。研修リーダーとしてホッとしたところであります。最後に、斉藤一郎、朝信泰信地区研修委員に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

対談「比企年度の実績と鈴木年度の目標」

ガバナー　比企 達男（宇都宮陽東ＲＣ）　ガバナー・エレクト　鈴木 宏（宇都宮北ＲＣ）
司会　佐貫 直通（月信編集委員長・陽東ＲＣ）

初めての経験に戸惑い

▶現ガバナーの比企先生と次期ガバナーになられる鈴木先生に、１年間を振り返る対談という形でお話しをうかがいます。まず、比企先生がノミニーになられた経緯からお願いします。

比企　決まっていた方がご事情があって就任できなくなり、急きょ私に回ってきました。それが6月でしたので、ノミニーだった期間は1カ月ほどです。ほとんどノミニーの経験なしに7月からエレクトになったわけです。やはり、ノミニーの期間は少なくとも1年はあったほうが、引き受ける人にとっても、支えるクラブにとっても望ましいと思います。地区大会やPETS、地区協など、そのつもりで出ているかどうかで、心構えも全く違います。全く突然のことでしたが、陽東ロータリーの会員はよくやってくれたと思っています。

▶特別な事情でやむを得なかったと思いますが、活動展開を理解するためにもノミニーの１年間は必要だということですか。

比企　ええ。引き受けられる方はぜひノミニーを経験されたほうがいいと思います。他地区では「ノミニーのノミニー」を設けているところもけっこうあります。

大変だった大震災への対応

▶エレクトの１年間はいかがでしたか。

比企　それこそ目新しいことばかりでした。ロータリー財団のほかに、ロータリー研究会、GETSが東京と大阪と2つ、サンディエゴでの国際協議会などをエレクトの時に経験しました。さらにPETSと地区協を開くことになっていましたが、大震災の影響でやむを得ずそれらをまとめて、会場も変えてやりました。

▶時間もだいぶ短縮したようですが。

比企　PETSは1日半の予定を半日に、また、地区協も1日を半日に短縮しました。会長、幹事、ガバナー補佐の皆さんは、よく事情を汲んでいただいてこなしてくださいました。さすがロータリアンだと思っています。

▶鈴木先生は当時ノミニーとして比企先生の状況をご存じかと思います。ここ１年間、お感じになっていることがありましたら。

鈴木　クラブの例会で私がノミニーになるための話し合いが行われたのは、昨年の3月11日の前日の木曜日でした。震災を挟んで3月25日にクラブ例会で承認を受けて推薦され、指名委員会に提出させていただきました。比企先生はエレクトを務めておられましたが、大変な時期になさったという思いです。また、宇都宮陽東ロータリー・クラブの皆さんも大変な時期を乗り越えて、一生懸命おやりになったと思います。

各ガバナーごとに多様性

▶比企先生がガバナーとして活動なされた昨年の７月以降、鈴木先生はエレクトとしてどのようにご覧になっていましたか。

鈴木　地区大会はじめいろいろな面でガバナーの優しさが多く見られた年度だったと思います。

▶比企先生の性格がにじみ出ていると……。

鈴木　にじみ出てそれが伝わって、私も助けていただきながら運営ができました。

▶エレクトの時、比企先生には前任のガバナーの動きはどのように見えましたか。

比企　瀬下直前ガバナーは、任期の最終段階で大震災があり、支援が大きな課題となって本当に大変だったと思います。

▶エレクトの立場を経験した後、ガバナーになっていかがでしょう。

比企　私たちは前年度のガバナー会が考え出した「5For1」などのプランを引き継ぎました。2550地区としては、ガバナー補佐の方々がそのプランを理解して、奉仕活動の中に盛り込んだのです。

▶活動の目標や方針などを求められたり、各クラブの意見も拝聴する場面も多かったと思いますが。

比企　各年度のガバナーで活動方針が異なることはとてもいいことです。瀬下直前ガバナー、私、鈴木エレクトと、それぞれタイプが違い、それが活動の多様化につながります。私の場合は、ロータリーの原

比企達男ガバナー

点に戻ることをテーマに掲げ、ロータリーの歴史についてガバナー公式訪問などでお話ししてきました。さらに地区大会のテーマとして災害対策と米山を選びました。

▶復興ということですね。

比企　地区大会の経費も節約して支援に回そうということで、皆さん大変協力してくださいました。取りあえず30万円ずつを福島、宮城、岩手に贈り、さらに終わってからも90万円ずつを差し上げることができました。

災害時の対応策は急務

▶栃木県も被災県ですが、2550地区には、個人的に支援に取り組んでいる方が多いですね。

比企　地区でもやりましたし、クラブやグループ単位でも行いましたが、個人で１つのクラブ以上のことをやった方もいらっしゃいました。自らおっしゃらないので目立ちませんが、さすがにロータリー、「奉仕の理想に燃えて、集いしわれら」という言葉通りに底力を出しますね。

▶被災しながらも栃木県は一生懸命取り組んできたと感じます。鈴木先生、比企先生の活動展開を見ていていかがですか。

鈴木　比企先生の年度に東日本大震災復興支援委員会が誕生し、地区内外の被災地への義援金を分配しながら、いろいろな活動を行いました。うまくバランスを取りながら実行されている比企先生の姿を、素晴らしいなと思って見させていただきました。

▶自分の名前は出ないけれども、地区の委員会の方々が一生懸命努力している姿が多く見られました。また、鈴木先生がおっしゃった通り、比企先生のご人徳が表れた１年のようにも思います。通常の活動や行事日程もきちんとこなしていたと思いますが、鈴木先生、その辺はどのようにお感じになりますか。

鈴木　比企先生は、お忙しい中、地区内の活動に関して本当に活躍されていました。私の年度で開かれる各委員会、各会合にも出席いただき、二人三脚でやれたと思います。私と比企先生は、近藤年度のグループ３Ａと３Ｂのガバナー補佐でしたので、チームワークがうまく取れ、エレクトとしていろいろなことを教えていただきながらできました。

比企　鈴木先生と私はタイプは違うのですが、お互いに言わなくても分かるところがあるんですよね。間があかないで鈴木先生にやっていただくことになってうれしく思います。私はロータリーの哲学をもう一度見直そうという目標を掲げましたが、鈴木先生はさらに体系づけて「これを最後に持っていけば、あとは多少ブレても大丈夫」というような基本的なレールをつけてくれると期待しています。

鈴木　いろいろな考え方、多様性があるのがロータリーなので、そこまではいかないかもしれませんが。でも、ありがとうございます。

▶比企先生としては継続してほしいという活動展開があるかと思いますが。

比企　やり残しというわけでもないのですが、ロータリーの災害対策が少し気になります。ロータリージャパンの東日本復興対策委員会が６月30日で受け付けを締め切り、12月31日で解散します。私は、いつ災害が起こっても対応できるよう、常設の委員会にしてはどうかと考え、ロータリーの友や月信にも書きました。先日、小澤一彦さんにお会いしたので、そのことをお伝えすると「そういうことを言ってくれる人はあまりいないのでうれしい」とおっしゃっていました。手紙もお出ししまして、ご返事には、常設とはいかなくてもすぐ立ち上がるような仕組みにしたらどうかと書いてありました。

▶ロータリーのこれまでの取り組みからいけば、会員増強や米山も課題になりますね。

比企　そうですね。なかなか難しいことだとは思いますが、大事な活動展開になりますね。

▶鈴木先生は継続活動をどうお考えですか。

鈴木　今回のような災害が起こった場合の対応は大きな課題です。私の年度では国際奉仕委員会と社会奉仕委員会、そして、青少年育成委員会を一緒にして、地域社会奉仕委員会としました。比企年度でつくられた東日本復興支援委員会も含まれます。その中で今、災害マニュアルの作成に取り組んでいます。６月後半には私の年度のガバナー補佐、地域社会奉仕委員会

の皆さんと一緒に宮城に行って、地元のロータリアンの話を聞きながら、必要な復興を模索していきたいと思います。会員増強に関しては、各会員が当事者として仲間を増やすことに取り組んでいただければと思います。多様な考え方を知り、自分たちも変わることができるのがロータリーの醍醐味だからです。会員数の少ないクラブの皆さんは、積極的に他のクラブと合同事業や合同例会を開催して、仲間がたくさんいればまた違う、ということを味わってほしいと思います。米山については、私の年度では、20数クラブからの普通寄付の最低限度は3000円ですが、1000円を上乗せするお願いをして、地区から１人でも多く米山の学生を応援できればと思っています。

奉仕の本質は「陰徳の美」

▶今後も比企先生にはご尽力をたまわることがあるかと思います。また、鈴木先生には伝統ある2550地区が前に進めるようかじ取りをお願いしたいと思います。最後に一言ずつお願いします。

比企　ロータリーの奉仕活動は、かつては単年度で行うものという方向性がありましたよね。ロータリーでは奉仕活動を「陰徳の美」と捉えています。自ら「やった、やった」と言うものではないということです。ところが人間の本質でしょうか、感謝してほしいという気持ちが出てくる。受ける側にも奉仕をやらせてあげるという姿勢が見えるかもしれない。それで単年度にすることになったのではないでしょうか。　ただ、今はバネルジー氏が「継続、変化そして家族」と言うように、継続も重視されるようになりました。ロータリーの本質に戻ることができれば、単年度よりも継続の方が効果が出たわけです。奉仕をする側、受ける側ともそのあたりを考え直さなくてはいけないのではないでしょうか。

鈴木　決議23－34には社会貢献活動はロータリアンの皆様が学習する場であると位置づけられています。考え方、職種、年齢の違った人たちが、様々な方法で活動を組み立てる。それをもとに自分の社会貢献活動、自分の職業についてどう取り組むかを勉強する場であるということです。毎年、同じことをやっていると繰り返しになってしまいます。ロータリーは常にエポックメーキング的な題材を考えていくということだと思うのです。ただ、ロータリーの活動はトータルでは大きな力になっていますが、あまり目立ちません。そこで、それらを集約した大きな活動を何年間かやって世界の人々に活動を知ってもらい、それで会員が増え、認知もされると考えて、継続活動に取り組もうというRIの考えです。その土台が「戦略計画」であり、それに則って行動しようとしているのが「未来の夢計画」です。基本的には各クラブがまず元気なクラブになることです。

鈴木宏ガバナー・エレクト

▶鈴木先生のおっしゃることは、各クラブがいかにロータリー哲学を持って展開するかということかと思います。それが奉仕にもつながる。クラブが衰えてしまうとそういう力もなくなってしまいますね。

比企　1923年に決議23－34でそれをやっているのですから、ロータリーはすごいですね。

▶継続活動がいけないというのは戒めであり、基本的には継続だと理解していますが。

比企　米山やポリオ撲滅などみんなそうです。

鈴木　米山も多地区の合同活動として、日本のロータリアンたちがみんなで支えているということです。

▶意識していなくてもちゃんとそういうことができているすばらしい組織だと思います。

鈴木　それがロータリーのいい点であるわけです。

比企　つくづくそう思いますね。

▶ありがとうございました。

和やかに対談する比企ガバナー（左）と鈴木ガバナー・エレクト

ガバナー補佐の１年を振り返って

第１グループ
月江　寛智
（黒磯RC）

９月から10月にかけての比企年度ガバナー公式訪問は、数クラブまとめて実施することになり、大田原RC－黒羽RC－大田原中央RC、黒磯RC－那須RC、西那須野RC－塩原RCという組み合わせで３回の公式訪問となりました。普段から交流のあるクラブ同士が違和感なく集い実施できたことは、今後のガバナー公式訪問のあり方を示唆するものです。

IMは黒磯RCのホストで、佐藤博実行委員長のもと地区内トップを切って１月22日にりんどう湖ロイヤルホテルにおいて開催され、比企達男ガバナーのご臨席をいただき檜山達郎会長の歓迎あいさつがあり、元NHKアナウンサー宮田修氏が講演を行いました。

また、情報交換と親睦を深めるため会長幹事会を３回実施し、年間行事予定、震災被害普及助成活動、IMの内容、地区運営指針改正と未来の夢計画などについて話し合い、４月には宿泊で次年度の吉成ガバナー補佐にもご参加いただき、本年度の反省と次年度への希望、西那須野RCが提唱するロータリー・ホーム奨学基金計画等を語り合いました。この年度、会員が減少した中で各クラブが守るべきものと変えなければならないものを見極め、存続力を蓄えることが大切であると実感した次第です。ガバナー補佐として力不足で内心忸怩たる思いです。この１年間の会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

第２グループ
阿部　孝憲
（氏家RC）

昨年、私の役目は東日本大震災が発生し、任期前の４月４日に大震災地区対応会議の招集で突如始まりました。大震災はいろいろな面で、今までのロータリー活動を一変させました。特に第２グループは県内で最も大きな被災地域であり死傷者も出ました。新・旧の両会長幹事会で、各クラブの被災状況確認ではGSEの受け入れは困難と判断しました。比企ガバナーには事情を十分ご理解頂き感謝いたします。ロータリーの危機管理委員会は、今や想定外の無い、万が一の災害や事故に機能しないことには驚きましたが、発足の経緯もあり、今後一考の余地があるのではないでしょうか。

ガバナー公式訪問は、初めて５クラブ合同で実施しました。ガバナーのご意向と当グループの希望が合致し、中身の濃いものとなりました。IMは「出会いに感謝　奉仕に感動」をテーマに開催しましたが、まさにその通りであったと思います。ガバナー、ガバナー補佐の皆様方、第２グループの多くの仲間、多くのロータリアンに出会い、人として成長したことに感謝し、奉仕に笑顔が溢れ、その度に感動するものでした。グループクラブの意見を申し上げることに力が入り過ぎ、ガバナーにご迷惑のかけ通しでお詫びいたします。比企ガバナー、第２グループの皆様、ご指導ご協力ありがとうございました。

第３グループA
恩田　光憲
（宇都宮西RC）

就任の直前・直後は、自分にガバナー補佐が務まるか、大変不安な気持ちでおりました。比企ガバナーの方針は、大変崇高で奥が深いものでしたし、研修時に与えられたテーマは簡単には実行できそうにもないものばかりでした。クラブ訪問、ガバナー公式訪問、地区大会、ＩＭなどが過ぎてゆくに従って、少しずつ不安もやわらいでまいりました。それは第一に、各クラブの皆様が協力的に応じてくださったことにあります。また、地区内のガバナー補佐の方々との連携、特に第３グループＢの中村ガバナー補佐様と一体となって活動できたことは、大きな力となりました。ロータリアンは皆友人、同じ奉仕の理想に向かっているのだということをあらためて強く感じました。

ちょうど、東日本大震災後の復興の時期に当たり、第３グループＡ・Ｂ合同のファイブ・フォー・ワンのプログラムは、宇都宮東ＲＣの大船渡西ＲＣ、宇都宮南ＲＣの亘理ＲＣへの支援にそれぞれ協力するということで実を結びました。ＩＭでは、各クラブの問題点などを発表していただき、それをもとに討論が行われ、研修という意味において、成果がありました。会費の残金20万円を震災の義援金にすることもできました。ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

第3グループB
中村　勝
（宇都宮陽南RC）

平成22年6月24日（木）宇都宮陽南RC、年度最後のさよなら例会のとき、次年度ガバナー補佐のクラブ推薦が決定し、長いようで短い2年間が過ぎようとしています。覚悟は決めたものの、何から手をつけていいのかわからず、気にしていながらも仕事に追われ、ついに平成23年1月8日（土）第1回ガバナー補佐研修会となりました。研修会で「第3グループBガバナー補佐　中村勝」の名刺を渡された時は、ちょっと自慢な気持ちとこれからの不安な気持ちが交錯し、取りあえずやるしかないと心に決めました。

地区研修リーダーから「ロータリー活動の目的」や「C.L.P.」について話を聞いたところ、今さらながら感銘いたしました。これを少しでも広めることが自分の使命と思いました。いろいろと試行錯誤していると、先輩のパストガバナーから温かいアドバイスや本も頂戴しました。補佐訪問のときには、まずこの話をさせていただきました。

今年度は3·11東日本大震災もあり、地区の行事も変更を余儀なくされましたが、私にとりましては生涯忘れられない貴重な時間を過ごさせていただいております。ロータリーとは、自分の人生の生き方の教科書であり、今後とも「最も奉仕するもの、最も多く報われる」を信じ、活動していきたいと思います。

第4グループ
牟田　紀一
（益子RC）

第2回ガバナー補佐エレクト研修会では、比企ガバナーエレクトがRIガバナーエレクト研修会から帰られて、カルヤン・バネルジーRI会長の「心の中をみつめよう、博愛を広げるために」のテーマが発表された。年度のための準備に入ろうとした矢先の3月11日、大震災が発生し、その対応で慌ただしい比企年度のスタートとなった。

第4 グループでは年度当初の1カ月間に3 クラブがガバナー公式訪問というスケジュールにもかかわらず、各クラブとも的確迅速な準備で訪問を受けていただいたことに感謝を申し上げたい。また、5回の会長・幹事会を開催し、第3 回目の会議には各クラブの親睦委員長にオブザーバー出席を願い、クラブの親睦活動の意見交換を行った。

東日本大震災では、瀬下年度末の6月12 、13 日に当グループから2520 地区岩手県大船渡RC・大船渡西RCを通し、支援物資、益子焼・栃木産米を大型トラックに満載し、25名の会員が大船渡市へ赴いたこと、大船渡RC・大船渡西RC から会長幹事5 名を招聘し「被災地に学ぶ・支援と復興」をテーマに、瀬下パストガバナーを迎えてのＩＭ を催すことができたことが一番の成果であった。在任の1年、比企ガバナーはじめ同期ガバナー補佐の皆様、第4グループ会長・幹事、会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

第５グループ
石塚　勝彦
（小山RC）

2011～2012年度の第５グループではガバナー補佐も決まり、順調な比企年度がスタートいたしました。しかし第５グループからの推薦者が体調不良のため、職務の続行が無理とのことで、急きょ辞退をされまして、後任に健康だけが取りえの私が推薦を受けました。突然の話でなんの心構えもなく、補佐が務まるか自問自答の繰り返しでした。

そんな時、先輩ロータリアンからのロータリーでは推薦を受けた役職は全て快く引き受けなさいとの教えを実践すべくお引き受けをいたしました。第１回目の研修会で比企ガバナーに接して、温厚でソフトな話し方に一抹の不安も消えました。第５グループの皆様は既に素晴らしい事業計画による活動を開始しており、その内容をガバナーに連絡をして的確なアドバイスをいただき、公式訪問でも楽しく有意義にご指導をたまわりました。

東松島市に対し石巻東ＲＣを通じて両親を亡くされた孤児のために義援金の贈呈を行いました。被災されました皆様の一日も早い復旧、復興を心よりご祈念いたします。１年を振り返りますと大勢の皆様と出会い、さまざまな体験をさせていただき、感謝申し上げますとともに、第５グループの皆様にはご協力いただき、また、比企ガバナー、地区役員の皆様には１年間ご指導いただき、ありがとうございました。

ガバナー補佐の１年を振り返って

第6グループ
山口　武夫
（栃木RC）

順調に滑り出すように見えていた矢先、3月11日の地震、津波、原発事故と続き、予定が全く狂ってしまったことは残念としか言いようがありません。PETSと地区協議会を1日で同時開催したことも後の記憶に残ることになると思います。

壬生クラブは最初のガバナー公式訪問（7月13日）ということで、6月中の2回目の訪問でクラブ協議会を開いていただきました。公式訪問ではガバナーの卓話とクラブの活動状況の報告、奉仕活動の目標が話し合われ、良い雰囲気のうちに終了しました。公式訪問は10月4日（火）栃木西クラブ、10月6日（木）栃木南クラブ、11月2日（水）栃木クラブと合計4回行われましたが、公式訪問の前にガバナー補佐が出席してのクラブ協議会を開催していただき、各委員会の今年の目標等について発表と講評を行い、公式訪問では重複しないようにして、ガバナーにはクラブの指導と今年の目標をお話しいただくようにしました。また､第7グループの八木澤ガバナー補佐さんと連絡を取り合い、平成24年2月18日（土）、鬼怒川温泉ホテルを会場にIMを開催。今市クラブの宮本会長さんや会員の皆様のご奉仕に感謝します。第2520地区大槌ロータリークラブとの間で進めているファイブフォーワンクラブの活動は、現地の事情もあり次期への繰り越も考えています。

第7グループ
八木澤 享一
（今市RC）

今年度を振り返りますと、東日本大震災、放射能問題、局地的豪雨、竜巻被害などこれほど多くの災害が発生した年は珍しいと思います。ガバナー補佐としての責務を遂行できたかどうか分かりませんが、ガバナー公式訪問を含め、グループ内７クラブを数回訪問させていただいたことは、多くを学ぶことができ、また、多くのロータリアンと知り合うことができて、意義深い生涯忘れることのできない１年になりました。

各クラブを訪問して感じることは、伝統と格式をもってロータリーを楽しみながら奉仕活動しておりますが、会員増強が共通の悩みのようです。これという解決策はありませんが､時には他クラブを訪問し、自分自身で見て、聞いて、感じていただいてはいかがでしょうか。今の経済不況などを理由に、仕事との両立は難しいという少数のロータリアンには、ぜひ刺激を求めて他のクラブへビジター訪問を勧めたいと思います。出席率の低下、会員減少の歯止めと増強の一助になるのではないかと思います。考えているよりまず行動することではないでしょうか。１年間、関係各位には大変お世話になりました。ありがとうございました。各クラブ訪問に際してはいつも歓迎いただいて感謝申し上げますとともに、各クラブのますますのご隆盛を心よりご祈念申し上げ、感想といたします。

第8グループA
中谷　研一
（足利東RC）

ガバナー補佐研修を受け、比企ガバナー年度活動計画の立案を行う中、突然大地が激しく揺れた。多くの尊い人命が奪われ、当地区も被災し3月開催予定のPETSは延期へ。その後5月開催の地区協議会と同時開催された。被災地復興支援活動を4RCで行うこととなったが、活動地、活動内容等の決定は至難の業であった。試行錯誤の末、桑原RIコーディネーター（以下RIC.：RI第2520地区塩竈RC）にお会いする機会を得た。混乱の中、4RCの会長幹事の考えは「被災されたロータリアンの支援」であった。桑原RIC.のお骨折りで、同地区第5分区（石巻市）のロータリアンと接触することができた。第5分区4RCを訪問し、われわれの意思を伝えた。クラブ訪問を繰り返すうち、互いに理解し合う機運が高まった。支援活動として「少年野球大会」による交流、「バトミントン交流会」「チャリティーコンサー」による義援金活動が行われた。また、RCの親睦活動として、親睦ゴルフ大会を開催した。

今年度4RCが協力して石巻震災復興支援活動に従事した結果、石巻4RCから友好クラブ締結の要請があり、6月16日締結することとなった。活動の趣旨を互いに理解し得たことはわれわれにとって無上の喜びである。この大災害を長く記憶にとどめ、若い世代に語り継ぐことがわれわれに課せられた任務と考える。

第9グループ
芝口　久雄
（佐野東RC）

「青天の霹靂」のから始まった私のガバナー補佐としての１年間ではございますが、第９グループの皆様方のご協力により無事に役目を終えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

残念ながら、「浅学非才の身にとっては、荷が重いのでは？」との大方の予想通り、確固たる実績は何も残せませんでしたが、ガバナー公式訪問につきましては、何とか半人前ぐらいには、お役に立てたのではないかと思っています。

ＩＭにつきましては、小林会長、村野幹事を始めとする佐野東クラブのメンバーの尽力によりまして、素晴らしい結果を残すことができました。ありがとうございました。

最後に、第9グループと第2550地区の発展をご祈念申し上げるとともに、第9グループ内の会長幹事の皆様方に、未熟なガバナー補佐に対して、たいへんなご協力を頂戴致しましたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。ロータリーの友情をしみじみ感じた１年間でした。本当にありがとうございました。

ロータリー財団およびロータリー米山記念奨学会功労者のみなさま

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

2012年2月～3月分

ポール・ハリス・フェロー

公文　初江	しもつけ
増山　恭子	しもつけ
谷中　好江	しもつけ
原田　篤	鹿沼東
深町　　彰	黒磯
高根沢英司	黒磯
秋葉　秀樹	黒磯
植竹　一裕	黒磯
遠藤　清和	黒磯
新井　昌一	黒磯
吉光寺政雄	黒磯
鈴木　隆子	黒磯
藤村　　聡	黒磯
村山　　茂	黒磯
佐藤　　隆	黒磯
檜山　達郎	黒磯
室井　次男	黒磯
橋本　佳明	黒磯

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

荒木　貞雄	宇都宮陽北	1回	小口　義夫	しもつけ	1回	湯澤　義典	鹿沼東	2回
石塚　勝彦	小山	2回	出口　　敏	鹿沼東	2回	木村　剛考	鹿沼東	2回
野崎　一彦	小山	2回	阿見　英博	鹿沼東	2回	阿部　孝憲	氏家	1回
大森　武男	小山	2回	高橋　　宏	鹿沼東	2回	吉成　容一	氏家	1回
杉山　　欣	真岡	3回	安田　　博	鹿沼東	1回	近澤　雅昭	栃木西	3回
高山　　功	下野	1回	美野輪弘之	鹿沼東	2回	加藤　勝朗	宇都宮東	2回
伊澤　勝彦	しもつけ	1回	小林　隆司	鹿沼東	3回	森田　浩敏	宇都宮	1回
遠藤　孝雄	しもつけ	1回	吉村　　繁	鹿沼東	2回	久保井一臣	宇都宮	2回
川中子　隆	しもつけ	2回	大門　喬夫	鹿沼東	3回	喜谷　辰夫	宇都宮	1回
髙木　敏子	しもつけ	2回	布川　武男	鹿沼東	2回			

ベネファクター

谷中　洋子	真岡西
上野　　裕	真岡西

米山功労クラブ

宇都宮90	17回

米山功労者

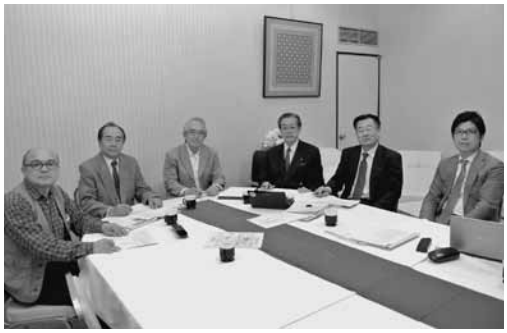
富田　諦雄	佐野東	3回	飯島　陽子	しもつけ	1回			
芝口　久雄	佐野東	3回	川中子　隆	しもつけ	2回			
小西久美子	大田原	1回	公文　初江	しもつけ	6回			
伊藤　一男	大田原	2回	印出井敏英	宇都宮	2回			
島崎友六郎	大田原	2回	保坂　正裕	宇都宮90	2回			
田代　彰彦	大田原	6回	梅園　　明	宇都宮90	2回			
谷中　好江	しもつけ	1回	飯村　慎一	宇都宮90	3回			
南　　俊郎	しもつけ	1回	粕谷　明弘	宇都宮90	4回			

それぞれの表彰規程につきましてはホームページをご覧ください。

編集委員会より

比企ガバナー、岩村幹事からの依頼で担当になり2550地区での月信方針を考え、橋本正行、鈴木修司、随想舎の卯木、佐貫の4名で委員会を立ち上げ、ガバナーの意向を全会員に伝達する、講読率を上げる事を考え、ガバナー・幹事に出席を頂きました。

「RC情報を早く」「写真を入れ、少ない字数で興味を持てる」「多くの会員に原稿を依頼する」「次年度月信がスムースに出来るように」など、協議を重ね取り組みました。



１年を終えて。編集委員会風景

原稿依頼に答えて頂いた方々、職業奉仕精神で取り組んだ随想舎、次年度委員の田村晃様、事務方など多くの関係者のご努力を感じました。さらに前進した次年度月信が出来ますことを祈念し、比企年度の月信を閉じさせて頂き、ご協力を頂いたロータリアンに深甚なる感謝を申し上げます。

2011-12年度 インターアクト海外研修報告

インターアクト委員会委員長
二十二　修（宇都宮北RC）

貴重な体験を積んだ台湾でのインターアクト海外研修

2012年3月25日～28日に今年度のインターアクト海外研修を台湾にて実施いたしました。前年度は震災直後ということで規模を縮小しての実施でしたが、今年度は、羽石PDGを団長に、インターアクター27名・引率教員7名・ロータリアン4名、計38名の訪問団による実施となりました。

今回の研修の目的は、我が国の震災復興に多大な援助をしていただいた台湾に対し、感謝の意を伝えさらなる友情を深めることでありました。親善大使としての訪問団はその目的を十分に達成し意義ある研修とすることができましたこと、また、けが人なども出さず無事帰国できましたこと、まずご報告させていただきますとともに、これもひとえに地区内ロータリアン皆様のおかげと感謝申し上げます。

台北での当地区を含む日本からの交換学生との交流会。また、台南での現地六信高級中学校との交流会。これらは、今後国際世界を目指す若きインターアクターにとって貴重な経験になったことと思います。後日お届けします参加インターアクターたちの報告書をぜひご覧いただき、新世代奉仕の意義をご理解いただければ幸いです。

最後になりますが、今回ご理解ご協力いただきました地区役員と地区内すべてのロータリアン、そしてRI3470地区および六信高中の皆様に心より感謝申し上げ、2011-12年度RID2550インターアクト海外研修報告とさせていただきます。

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申しあげます。

物故
平成24年3月9日
享年71歳
新井（あらい） 祥夫（よしお） 様
（宇都宮RC）

■ロータリー歴
地区役員 当クラブ
1994～1995年ロータリー財団委員長　1995～1996年 会員増強委員長　1996～1997年 職業奉仕委員長　1998～1999年 広報委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
Mポール・ファリスフェロー 2764.21$
ベネファクター 1000$　米山記念奨学会
第5回米山功労者(マルチプル) 570,000円

物故
平成24年4月3日
享年89歳
金澤（かなざわ） 力（ちから） 様
（宇都宮RC）

■ロータリー歴
地区役員 当クラブ 1987～1988年 雑誌委員長
1990～1991年 職業分類委員長
1992～1993年 社会奉仕委員長
1995～1996年 会員選考委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
ロータリー財団
ポール・ファリスフェロー 1746.21$　ベネファクター 1000$
米山記念奨学会　第3回米山功労者(マルチプル) 375,000円

物故
平成24年4月17日
享年85歳
旭岡（あさひおか） 聖順（せいじゅん） 様
（佐野RC）

■ロータリー歴
地区役員 当クラブ
1981～1982年 幹事　1991～1992年 会長
1992～1994年 地区社会奉仕委員会委員

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
MPF4・B・Y4

物故
平成24年4月19日
享年79歳
大久保（おおくぼ）義美（よしはる）様
（日光RC）

■ロータリー歴
ロータリー歴20年
1999～2000年 会長　1995～1996年 幹事
2011～2012年 幹事

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
マルチプル・ポールハリス・フェロー(2008年)
ベネファクター(1999年)
米山記念奨学会功労者(2004年)

第2550地区 新入会員紹介

小川（おがわ） 克（かつみ）
（小山北RC）
（有）O.G.W.
代表取締役
H23.7.1入会

自動車販売修理を営んでいます。未熟者ですが末長くよろしくお願いします。

安部（あべ） 貴則（たかのり）
（小山北RC）
（株）安部建設
代表取締役
H24.2.1入会

世の中の何かのお役に立ててその中で自分自身も磨かれ成長できればと思います。

塩島（しおじま） 達人（たつと）
（葛生RC）
佐野信用金庫葛生支店
支店長
H24.2.1.入会

未熟者ですが少しでもお役に立てるよう頑張ります。

川上（かわかみ） 孟男（たけお）
（今市RC）
㈱NTT東日本-栃木ビジネス営業部
日光オフィス営業担当 担当課長
H24.3.28入会

何も分からない新会員ですので、皆様方のご指導をよろしくお願いします。

国際ロータリー第2550地区　4月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例会数	4月出席率		会員数							
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	93.15	89.49	34	33	0	0	1	2	-1	2
	黒磯	4	87.15	92.80	43	42	0	0	2	3	-1	2
	西那須野	4	91.05	89.19	39	42	4	1	5	2	3	0
	黒羽	4	95.31	94.31	16	16	0	0	0	0	0	1
	那須	4	80.77	74.24	12	13	0	0	1	0	1	2
	塩原	4	72.22	70.63	9	9	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	4	70.00	76.00	27	28	1	0	1	0	1	2
第2グループ	烏山	4	93.75	94.68	12	12	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	91.31	88.81	23	25	0	0	2	0	2	0
	矢板	4	57.30	57.18	28	28	0	0	0	0	0	4
	馬頭小川	4	92.11	85.41	21	19	0	0	0	2	-2	0
	高根沢	4	83.30	79.75	18	18	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	4	75.40	75.97	87	93	1	1	16	10	6	0
	宇都宮西	4	82.87	87.77	68	69	3	2	4	3	1	0
	宇都宮北	4	79.43	81.08	45	49	0	0	4	0	4	0
	宇都宮90	4	94.38	88.40	40	38	0	0	1	3	-2	4
	宇都宮陽北	4	89.29	85.38	29	30	0	0	2	1	1	3
第3グループB	宇都宮東	4	92.46	93.18	92	94	2	0	4	2	2	0
	宇都宮南	4	80.70	84.28	45	44	0	0	1	2	-1	0
	宇都宮陽東	4	75.50	78.58	42	41	0	2	1	2	-1	0
	宇都宮陽南	4	82.81	90.50	17	16	0	0	0	1	-1	2
第4グループ	真岡	4	85.65	88.75	51	52	0	0	2	1	1	0
	益子	4	94.20	92.37	29	27	0	0	0	2	-2	0
	真岡西	4	84.14	85.99	37	37	0	0	4	4	0	6
	しもつけ	4	93.34	92.43	33	32	0	0	0	1	-1	8
第5グループ	小山	4	98.00	97.75	38	37	1	0	2	3	-1	0
	小山南	4	100	97.05	19	19	0	0	0	0	0	2
	小山東	4	87.88	88.15	33	33	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	75.00	79.94	23	24	0	0	1	0	1	0
	小山中央	4	73.70	76.36	22	21	0	0	0	1	-1	1
第6グループ	栃木	4	92.00	86.95	34	35	0	0	2	1	1	0
	栃木西	3	95.83	88.83	33	33	0	0	1	1	0	0
	壬生	5	61.90	64.70	19	19	2	1	2	2	0	2
	栃木南	3	80.60	85.90	30	30	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	2	85.71	72.50	24	23	0	1	0	1	-1	5
	鹿沼	4	70.45	72.76	62	66	0	0	5	1	4	1
	今市	4	89.89	90.51	41	42	1	0	1	0	1	0
	鹿沼東	4	79.62	90.11	43	42	0	0	0	1	-1	1
	粟野西方	5	96.60	91.77	13	12	0	0	0	1	-1	1
	鹿沼中央	4	90.52	84.71	27	29	1	0	2	0	2	2
	今市きぬ	4	91.07	90.85	27	28	0	0	2	1	1	1
第8グループ	足利	4	68.54	73.07	36	36	0	0	2	2	0	0
	足利東	3	75.28	75.64	58	58	0	0	0	0	0	8
	足利西	4	76.65	79.98	13	15	0	0	2	0	2	0
	足利わたらせ	4	95.97	96.51	28	31	0	0	3	0	3	0
第9グループ	佐野	4	88.90	88.06	60	66	0	1	7	1	6	0
	葛生	3	81.30	88.65	32	32	0	0	1	1	0	0
	田沼	4	91.66	89.49	36	37	0	0	1	0	1	0
	佐野東	4	86.36	87.88	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	4	73.00	70.35	21	21	0	0	0	0	0	1
	50RC		84.48	84.51	1691	1718	16	9	85	58	27	67

文・庫・通・信（296号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

●日本の先輩ロータリーアンのロータリー観　申込先：ロータリー文庫（コピー / PDF）

『さわやかインタビュー
人間米山梅吉を大いに語る（その１～３）』　湯浅恭三・杉谷武雄　米山記念奨学会 1986　（22p）
『大夢翁 土屋元作伝　第一章・第二章』　日出RC編　1996　24p
『「奉仕の理想の意味」ポール・ハリス
「角砂糖クラブとこんぺい糖クラブ」
斉木亀治郎「常識の意味」米山梅吉』　辻 忠夫編　D.268　1991　3p（ロータリー百話）
『ロータリー・ニュースとガバナー昔話』　直木太一郎　神戸RC　1975　79p
『ロータリー・ニュース　1981年~83年』　直木太一郎　神戸RC　1983　99p
『前原ガバナー講話集』　D.355　----　87p
以下、申込先が変わります……
『ロータリアン福島喜三次傳（日本ロータリーの曙）』　蒲原権編　有田RC　1986　102p
［申込先：有田RC　FAX（0955）43-3140］
『ロータリーの本』　森 光繁　今治RC　1978　126p
［申込先：今治RC　FAX（0898）22-3952］

ロータリー文庫
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL 03-3433-6456　FAX 03-3459-7506　URL http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館時間：午前10時～午後５時　休館日：土・日・祝祭日

各ロータリークラブでおしらせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。

2012-2013 RID2550地区大会開催のご案内

2012-2013年度
ガバナー **鈴木 宏**
（宇都宮北ロータリー・クラブ）

地区大会実行委員長
亀和田 辰男
（宇都宮北ロータリー・クラブ）

International Rotary District 2550
尊敬しますロータリアンの皆様!

2012-13年度は、年度が始まって直ぐの地区大会開催となります。地区大会は、各クラブで活動しているロータリアンの皆様が一堂に集い、会員間の友愛と絆を深める場です。また、RI会長田中作次様のRIテーマ"Peace through Service"と方針を理解し、共有することによって、この一年間のロータリー活動の目標を一人ひとりが確認する機会でもあります。

今大会が「元気なクラブ」への活性化の基盤となり、地区が益々発展することを祈念致しております。7月の暑い中ではありますが「住めば、愉快だ宇都宮」へ是非足を運んでください。宇都宮北ロータリー・クラブ会員一同、誠意をもっておもてなしをさせていただきます。

7/Sat.14 地区大会記念ゴルフ大会
大会会場：宇都宮カンツリークラブ

宇都宮市上戸祭町3100番地
TEL 028-624-7221
HP http://www.utsunomiya-cc.co.jp/

7/Sun.15 地区指導者育成セミナー
会場：宇都宮グランドホテル

13:00	登録開始
13:30	点鐘 ガバナー挨拶 RI会長代理挨拶
13:50	講演：「元気なクラブになるために」 講師：桑原茂氏 講師：RI会長代理
15:50	質疑応答
16:30	点鐘

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
会場：宇都宮グランドホテル

17:00	RI会長代理ご夫妻入場 RI会長代理挨拶 乾杯・祝宴 演奏会：i-nos
20:00	閉会

7/Mon.16 本会議
会場：宇都宮グランドホテル

9:00	登録開始
9:30	点鐘 国歌・ロータリーソング斉唱 物故者黙祷 開会の言葉 歓迎の言葉 RI会長代理・来賓紹介 地区外ロータリアン紹介
10:20	ガバナー挨拶並びに地区現況報告 RI会長代理挨拶並びにRI現況報告 各種委員会報告並びに上程 大会決議案採択 来賓祝辞 記念行事目録贈呈 各種表彰
11:45	昼食・休憩
12:45	一年交換学生帰国報告
13:25	演奏会：i-nos
14:00	**記念講演：奥山清行氏** 「〝超〟モノづくりへの挑戦 ～これからの100年をデザインする」
15:30	招待学生紹介・GSE紹介
16:30	クラブ紹介・ガバナー補佐紹介
16:50	ガバナー・エレクト紹介 次期開催ホストクラブ代表挨拶 RI会長代理所感
17:20	点鐘
17:30	懇親会